

地域医療機能推進機構 (JCHO) 秋田病院

地域医療連携室だより



2017年度 第2号 7月

日々進歩する小児科&ハートケア外来

皆様、こんにちは小児科です。当院の小児科外来は午前・午後の一般診療、そこから必要時の入院管理、小児予防接種や心身症、発達障害児を扱うハートケア外



スームアップ

来（完全予約制）などに対応しています。当地域は少子高齢化が進んでおり、産婦人科の集約化による廃止、近年のワクチンの充実（ヒブ、小児肺炎球菌、B型肝炎、ロタウイルス等の開始）により一般外来、入院数は減少しています。10年前から当地域唯一の小児心身症、発達障害、神経発達を扱う専門外来（ハートケア外来）を行っており、地域の子どもたちのため、教育機関や福祉機関と連携をとり大塚美穂子診療部長を中心としスタッフ一同日々進歩しているこの分野を勉強しながら対応しています。また2年前からは、臨床心理士も加わり、心理検査（発達・知能検査・読み書きに関する検査等）を取り入れることで、対象児のニーズを把握し必要とするサポートにつなげられるよう、より充実した診療を目指しています。



また、当院は病児保育室『はっぴい』を併設しており、医療機関併設型の保育室となっ



ています。診療部長の管理の下、看護、保育、栄養の専門家が子どもたちの看護、保育を行っています。病状ごとに部屋を分け、個々の状態に応じた保育をしており、子育て中の方が安心して子どもを預けることができる保育室です。

これからも当院を利用してくださる子どもたちが、元気に「ばいばい。」と言って笑顔で帰っていく姿を支えにこれからも小児診療を実践していきたいと思ひます。

(小児科外来 看護師 松橋真幸)

第4回地域協議会開催される

より良い JCHO 秋田病院を目指して！

～事業報告、事業計画、要望、改善策など討論行う～

平成 29 年 6 月 19 日、JCHO 秋田病院第 4 回地域協議会が開催されました。この地域協議会は独立行政法人地域医療機能推進機構法第二十条で設置が義務付けられ、当院では協議会の他、分科会を年 2 回開催し、広く地域利用者や関係者のご意見をお聞きし運営に努めています。今年度開催では、委員交代の紹介や新規委員も加わり、山須田議長のもと、石岡院長から平成 28 年度事業報告、平成 29 年度事業計画等の紹介、また、これまで病院に寄せられた要望の対応報告がなされました。

病院に求めるニーズの収集のあり方として、協議会委員の意見、院内のやまびこ（意見箱）や市民講座参加者アンケート等から収集し、より身近な要望の改善に努めてきました。今後も更に地域住民の声、病院利用者の声を大切にし、地域に根ざした、求められる病院の姿として、地域包括ケアの構築を図っていきたくと考えます。

右記のとおり、意見や改善策について紹介します。



ご意見・ご要望と対応

協議会開催日	委員属性	委員からの意見	対応（反映）状況
H27.7.1	利用者	地域連携室で相談がしやすいよう、個別の相談室を設けて欲しい。	平成 28 年 7 月に地域連携室に隣接する個別対応が可能な相談室を新設した。
H27.7.1	利用者	病院正面玄関前の障害者用駐車スペースに屋根をつけて欲しい。	平成 28 年 12 月屋根を設置した。
H28.6.30	利用者	市民講座の回数を増やしてほしい。	平成 27 年度 3 回開催から、平成 28 年度 6 回に増やした。
H28.6.30	利用者	病院に対する要望や意見を広くすくい上げるために、さらに工夫してほしい。	投書箱（やまびこ）や HP の他、市民講座開催時に参加者から記述式で意見をいただくこととした。
H28.6.30	行政	認知症初期集中支援チームの立ち上げに病院として是非協力及びアドバイスをお願いしたい。	認知症サポート医が 2 名所属しているため、平成 30 年度に向けて行政と共に病院受診以前の対策に協力したい。
H28.12.14	利用者	病棟の障害者トイレが少なく、特に整形外科、外科混合の 4 階東病棟では時間帯によっては混雑するので、改善をお願いしたい。	4 階東病棟の機械室を障害者トイレに改修し、障害者トイレを 2 カ所に増やし、混雑の改善を図った。

院内研修実施される

1. 護身術習う ～能代警察署生活安全課来院指導～

当院では、医療安全の観点で「患者さんの安全を守る」といった取り組みを、日々行っております。併せて「職員の安全も守る」という取り組みも重要となります。今回の職員研修は、能代警察署の生活安全課の担当者から講義と実技指導を行っていただきました。実際に「護身術」を行う場面では、職員全員が実践し、時に笑いが巻き起こる中、「万が一」に備えて真剣に取り組みました。

(医療安全管理室担当者 副看護師長 芳賀佳久子)



2. 救命講習実施～消防本部から救急救命士来院～

平成 29 年 6 月 2 日(金)当院健康管理センター大ホールにて、普通救命講習Ⅱ(AED含)が行われました。参加は新人看護師 6 名、准看護師 1 名、薬剤師 2 名、管理栄養士 1 名、看護助手 2 名、事務 5 名、社会福祉士 1 名、理学療法士 2 名の計 20 名の参加がありました。指導には能代山本広域市町村圏組合消防本部より救急救命士 3 名をインストラクターに迎え、3 グループに分かれ講義、演習を実施しました。参加者は良質な胸骨圧迫とバッグバルブマスクによる換気を念頭においた演習に苦戦を強いられていましたが、演習を積み重ね徐々にチーム連携が図れていきました。今回の経験が現場での救命率へ貢献することを期待します。

(4 階西病棟 副看護師長 加藤栄子)

独立行政法人 地域医療機能推進機構 ^{ジェイコー}(JCHO)
秋田病院 地域医療連携室
〒016-0851 秋田県能代市緑町 5-22

電話：0185-52-3271 (代表)
FAX：0185-54-7892 (代表)
FAX：0185-54-1266 (連携室直通)

編集後記

三浦 照りつく日差しに眼をやりながら毎日奔走し、気づけばもう 7 月も後半です。
夏の暑さを味方につけ爽快感を味わいたい！患者様の笑顔も大切な活力です！
安藤 東北はまもなく夏のお祭りまっさかりに。今年はねぶたが見たいな…
三熊 ここ数年酷暑が続いていますが今年はならないよう願っています。
袴田 災害は怖い、がんばれ九州、がんばろう秋田。